

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公開番号】特開2005-199089(P2005-199089A)

【公開日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-029

【出願番号】特願2005-77385(P2005-77385)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乱数抽選によって入賞態様を決定する入賞態様決定手段、および、1遊技の時間を計時する1遊技監視用タイマを備えたメイン制御基板と、

遊技音を継続的に出音して現在の遊技状態が前記入賞態様決定手段によって決定された所定の入賞態様に応じた遊技状態であることを遊技者に報知する出音手段、および、この出音手段の音量を制御する出音制御手段を備えたサブ制御基板と

を具備する遊技機において、

前記所定の入賞態様に応じた遊技状態では一般遊技状態と比べて高い確率で入賞態様が決定され、遊技を開始させる遊技開始手段が操作されることなく、または遊技に遊技媒体が賭けられることなく、所定のタイミングから計時された経過時間が予め定められた時間を経過したか否かを判別することによって、遊技者による操作が所定期間されていない状態を検出する状態検出手段を備え、

前記出音制御手段は、現在の遊技状態が前記所定の入賞態様に応じた遊技状態であり、かつ、当該遊技状態に応じた遊技音が継続的に出音されているときであって、前記状態検出手段によって遊技者による操作が所定期間されていない状態が検出されたときに、現在の遊技状態に応じた遊技音の音量を前記経過時間に応じて段階的に下げ、その後、前記遊技開始手段が操作されたとき、または遊技に遊技媒体が賭けられたとき、当該遊技音の音量を上げることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、前記1遊技監視用タイマは、前記所定のタイミングからの経過時間も計時することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明はこのような課題を解決するためになされたもので、乱数抽選によって入賞態様を決定する入賞態様決定手段、および、1遊技の時間を計時する1遊技監視用タイマを備

えたメイン制御基板と、

遊技音を継続的に出音して現在の遊技状態が入賞態様決定手段によって決定された所定の入賞態様に応じた遊技状態であることを遊技者に報知する出音手段、および、この出音手段の音量を制御する出音制御手段を備えたサブ制御基板と

を具備する遊技機において、

所定の入賞態様に応じた遊技状態では一般遊技状態と比べて高い確率で入賞態様が決定され、遊技を開始させる遊技開始手段が操作されることなく、または遊技に遊技媒体が賭けられることなく、所定のタイミングから計時された経過時間が予め定められた時間を経過したか否かを判別することによって、遊技者による操作が所定期間されていない状態を検出する状態検出手段を備え、

出音制御手段は、現在の遊技状態が所定の入賞態様に応じた遊技状態であり、かつ、当該遊技状態に応じた遊技音が継続的に出音されているときであって、状態検出手段によって遊技者による操作が所定期間されていない状態が検出されたときに、現在の遊技状態に応じた遊技音の音量を経過時間に応じて段階的に下げ、その後、遊技開始手段が操作されたとき、または遊技に遊技媒体が賭けられたとき、当該遊技音の音量を上げることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本構成によれば、状態検出手段によって、所定のタイミングから計時された経過時間が予め定められた時間を経過したか否かが判別され、遊技者による操作が所定期間されていない状態が検出されると、出音制御手段が、出音手段によって継続的に出音されている現在の遊技状態に応じた遊技音の音量を経過時間に応じて段階的に下げる。このため、遊技が行われている際、遊技者が遊技台を離れたり、獲得メダルをドル箱に移す作業をするために遊技を中断すると、出音手段による継続的な出音の音量は経過時間に応じて段階的に下がる。